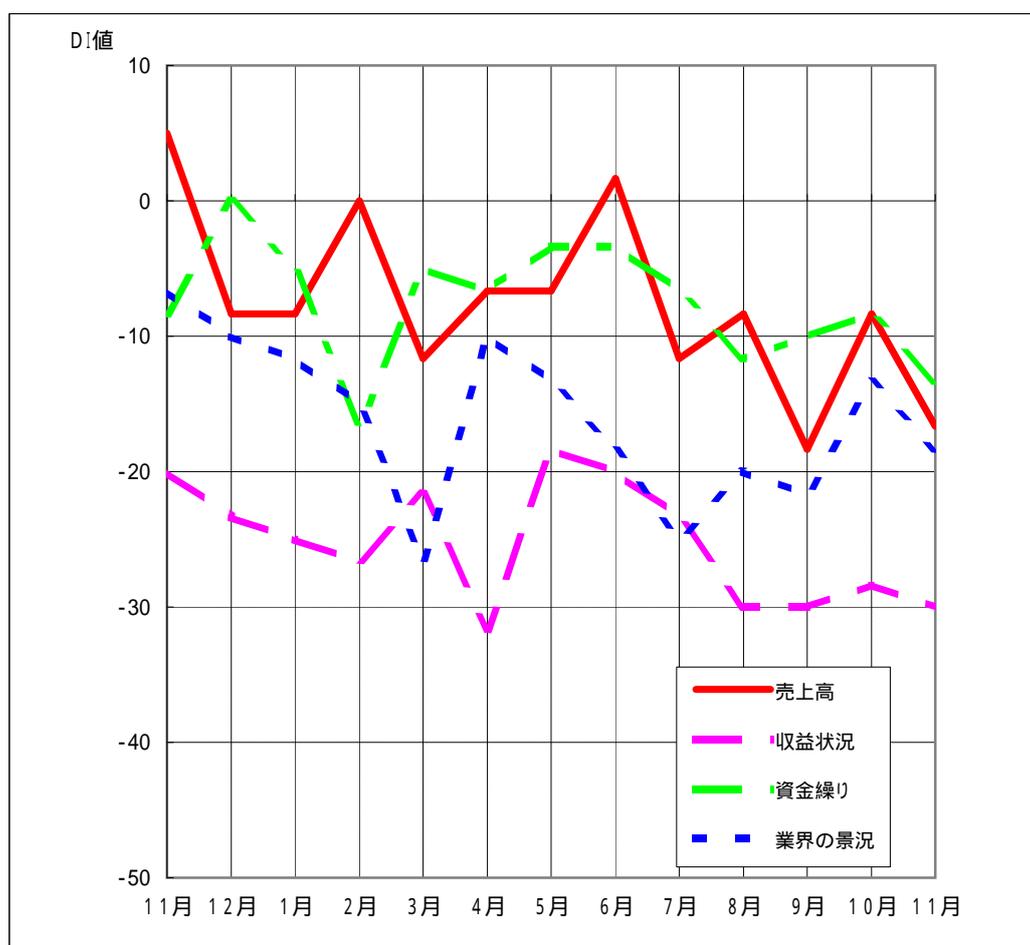


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年11月～平成18年11月

単位:ポイント



	H17 11月	H17 12月	H18 1月	H18 2月	H18 3月	H18 4月	H18 5月	H18 6月	H18 7月	H18 8月	H18 9月	H18 10月	H18 11月
売上高	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7
収益状況	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0
資金繰り	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3
業界の景況	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3

11月のDI値をみると、前年同月の各項目が中越地震の影響でそれぞれ30～50ポイント改善されていたことにより、上記各項目で悪化となった。「売上高」DIは前年同月より21.7ポイントの悪化でマイナス10%台に推移した。「収益状況」DIにおいては、10.0ポイントの悪化でマイナス30.0%へと推移した。「資金繰り」DI、「業界の景況」DIについては、それぞれ5.0ポイントの悪化、11.6ポイントの悪化でマイナス10%台に推移した。

ここ3カ月の景況は、一進一退に推移している。

組合の特記事項から、製造業では「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で受注増とする報告が見受けられた。しかし、他の多くの製造業では価格競争、原材料価格の高騰等で厳しいとする報告が多い。

非製造業では、「建設業」「運輸業」の一部で売上増とするが、それ以外の非製造業の多くでは、売上減、材料費上昇等により厳しい状況が続いている。

新潟県内の中小企業は、業種間・企業間で格差はあるものの売上減、原材料価格の高騰により、厳しい状況が続いていることが窺える。